



講演者略歴

キッティ・プラシルツクは、タイ・タマサート大学国際関係学教授であり、タイ外務省国際問題研究センター（ISC）諮問委員を兼任する。これまで、同大学副学長（国際関係担当、2018-2021年）、東アジア研究所所長（2013-2018年）を歴任し、タイ国防省戦略委員会委員（2014-19年）として政策立案にも関与した。

プラシルツク教授は南カリフォルニア大学パブリック・ディプロマシー・センター非常勤研究員（2023-2024年）を経て、現在は国際交流基金研究員（2024-2025年）として九州大学において「地方創生」に関する研究に従事している。カリフォルニア大学バークレー校客員教授として「東南アジア国際関係論」を教え、オーストラリア国立大学、ミュンヘン大学、早稲田大学、北京大学、復旦大学、高麗大学校、延世大学校等の様々な大学においても講演を行ってきた。また、コロンビア大学、日経フォーラム、北京フォーラム、済州フォーラム、東南アジア研究所（ISEAS）ユソフ・イシャク研究所等に招かれ講演を行なった。

慶應義塾大学にて修士号を取得後、カリフォルニア大学バークレー校にて博士号を取得した。米タイ同盟、日本・東南アジア関係、ASEAN、海洋安全保障、タイ政治等の幅広い分野において多数の著作がある。近著に、*Thailand," in Hall, Lee Brown, and Strating (eds.), Blue Security in the Indo-Pacific (Routledge, 2025)*がある。